

学校だより



令和5年(2023年)度

12月号

<教育目標> 楽しく 学び合い つながり合う 第七小学校 大阪狭山市立第七小学校

うれしいご報告

□この度、本校の子どもたちが夏休みの課題としてそれぞれ取り組んだ自由研究の成果が評価され、第67回大阪府学生科学賞において、「学校賞」を受賞することになり、11月11日、表彰式に参加してまいりました。府内の小学校・中学校・高等学校の中から最優秀賞各6点、優秀賞各6点の作品、そして学校賞は各1校が表彰されました。第七小学校は、府内の全小学校の中から1校選ばれたこととなります。今年度本校では、4年生以上の子どもたちが夏休みの課題として自由研究に取り組んでいます。3年生以下の子どもたちも希望者が自由研究に取り組んでくれました。学校として夏休み前には、校内の壁に調べ学習や自由研究のヒントとなるような、調べるテーマの事例などを掲示し、子どもたちが少しでも取り組みやすくなるような工夫を行ってきました。また、本校は小学校専科指導（理科）の加配教員が配置されており、科学的な事象について、興味・関心を持てるような授業改善を行っているところです。今回の受賞をきっかけに「理科好き」な子どもたちが増えること、また今後自由研究に取り組むにあたって、励みとなることを願っております。

□11月16日、17日に6年生が修学旅行に行ってきました。6年生の姿を見て、感心したことは、「企画力」と「実行力」です。たくさんの実行委員のグループがあり、そのグループで楽しい企画が考えられていました。みんなと仲良くできるために、しおりに用意されているシールをたくさんの人たちと旅行中に交換する企画や、みんなに楽しんでもらえるように、バスの中ではいろいろなクイズやカラオケの企画、目的地に到着しても説明の後に○×クイズがあったり、食事時間や入浴時間にも楽しい企画が考えられていました。修学旅行の引率を何度か経験しましたが、初めて見せてもらう企画もありました。子どもたちの発想は、とてもおもしろいなあと感心させられました。さまざまな内容の企画はありましたが、それぞれにきちんと「ねらい（目標）」があるのです。その目標を達成させるためにという目的がはっきりしていたので、安心して見せてもらうことができました。ただ実行委員の人たちだけが頑張っても、目標は達成できません。企画に参加する人たちの姿勢もとても大切です。実は、今回6年生は、企画を進める側も参加する側も、「仲間と協力して思い出に残る修学旅行にする」という共通の目標がしっかり共有できていたので、企画に参加している人たちが、実行委員さんの思いにこたえようとして協力してくれていたのが、たいへん印象的でした。すばらしかった「企画力」と「実行力」。6年生の成長を感じた2日間でした。

校長 平島 和